



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 亀田製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 通泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐藤 勇 (TEL) 025 (382) 2111
 経営統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	19,709	0.9	601	△30.3	818	△18.6	321	△37.1
22年3月期第1四半期	19,542	4.4	863	91.0	1,005	93.0	510	105.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	14	81	—	—
22年3月期第1四半期	23	17	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	52,537	28,322	53.5	1,294	79			
22年3月期	52,791	28,403	53.3	1,297	04			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 28,092百万円 22年3月期 28,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
22年3月期	—	—	10	00	—	—	12	00	22	00
23年3月期	—	—								
23年3月期（予想）			11	00	—	—	11	00	22	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	39,000	2.4	1,100	8.0	1,400	10.3	700	14.1	32	26
通期	82,000	3.3	3,800	9.2	4,300	6.9	2,400	14.2	110	62

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日～6月30日）の国内経済は、一部企業収益の改善や個人消費の持ち直しにより景気は、回復傾向にあるものの、依然として厳しい雇用情勢やデフレ状況が続いております。

食品・菓子業界では、消費者の個人消費の伸び悩みにより食料品等生活必需品の価格は、引き続き低下傾向にあり収益環境の厳しい状況が続いております。

このような経営環境下で、当社グループは、2000年から推進してきた構造改革から、前期より新たな中期経営計画をスタートさせ、更なる亀田ブランドの進化、お客様に安全・安心で健康的な新しい価値ある商品の提供、海外市場展開などを通じてグローバルフードカンパニーを目指し取り組んでおります。特に米菓主力商品では、ブランドの強化を行い低価格路線とは一線を画し、お客様にきめ細かな商品対応によるブランド育成やお客様ニーズに対応した値ごろ感のある商品の展開をいたしました。「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「まがりせんべい」「ぼたぼた焼」ブランドは、好調に推移いたしました。また、「つまみ種」「サラダうす焼」ブランドは、前年を下回りました。また、海外・国内各社とのクロスボーダー取引を開始し、需要開拓を進めたことにより、稼働率の向上に寄与いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、197億9百万円（前年同期比1億66百万円の増加）となりました。

利益面につきましては、お客様の値ごろ感へ対応するための販売促進費の増加と、主力商品ブランド強化による広告宣伝費が増加いたしました。また、持分法適用関連会社である米国TH FOODS, INC. の業績が好調に推移し経常利益に貢献いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は6億1百万円（前年同期比2億61百万円減少）、経常利益は8億18百万円（前年同期比1億86百万円減少）、四半期純利益は3億21百万円（前年同期比1億89百万円減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、525億37百万円になり、前連結会計年度末と比較して2億53百万円減少しました。主な資産の変動は、「現金及び預金」が7億89百万円、有形固定資産の「その他」が6億47百万円それぞれ増加した一方、「受取手形及び売掛金」が19億69百万円の減少したことによるものです。

主な負債の変動は、「短期借入金」が2億3百万円、「未払法人税等」が6億34百万円、「引当金」1億15百万円それぞれ減少した一方、「賞与引当金」が6億58百万円増加したことによります。

主な純資産の変動は、「為替換算調整勘定」が63百万円の減少、「その他有価証券評価差額金」が43百万円の減少したこと、「利益剰余金」が61百万円増加いたしました。

②連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費や売上債権の回収による増加の一方、法人税等の支払いなどによる減少により、27億15百万円（前年同期比8億28百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入額の減少による増加などの一方、設備投資による支出などにより、△13億67百万円（前年同期比4億55百万円の支出減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得の減少による増加の一方、借入金の返済や配当金の支払いなどにより、△5億53百万円（前年同期比1億3百万円の支出増加）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して7億86百万円増加し、現金及び現金同等物の四半期末残高は75億79百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期累計期間は増収減益となりましたが、ほぼ想定どおりの推移であり、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきまして修正を行いません。第2四半期以降は、引き続き主力ブランド商品を中心に拡大を図ってまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ1,832千円、税金等調整前四半期純利益は100,405千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は116,946千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,563,229	7,774,216
受取手形及び売掛金	8,117,266	10,086,902
商品及び製品	1,220,552	947,535
仕掛品	527,288	492,966
原材料及び貯蔵品	1,341,507	1,294,942
その他	1,444,149	1,044,569
貸倒引当金	△8,838	△11,744
流動資産合計	21,205,155	21,629,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,271,008	8,358,984
機械装置及び運搬具（純額）	7,986,216	8,096,539
土地	6,642,902	6,642,902
その他（純額）	1,334,000	686,809
有形固定資産合計	24,234,128	23,785,235
無形固定資産		
のれん	24,176	25,687
その他	526,113	514,909
無形固定資産合計	550,290	540,597
投資その他の資産		
その他	6,611,912	6,901,446
貸倒引当金	△64,301	△65,552
投資その他の資産	6,547,611	6,835,894
固定資産合計	31,332,029	31,161,727
資産合計	52,537,185	52,791,115

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,461,275	5,324,751
短期借入金	2,612,000	2,815,723
未払法人税等	466,042	1,100,548
賞与引当金	1,906,773	1,248,411
その他の引当金	207,251	323,000
資産除去債務	50,716	—
その他	4,876,794	4,879,454
流動負債合計	15,580,853	15,691,889
固定負債		
長期借入金	1,370,000	1,470,000
退職給付引当金	6,627,977	6,649,882
その他の引当金	331,900	331,900
負ののれん	40,348	46,112
資産除去債務	66,741	—
その他	196,562	197,934
固定負債合計	8,633,530	8,695,829
負債合計	24,214,384	24,387,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	27,029,035	26,967,980
自己株式	△922,959	△922,740
株主資本合計	28,538,741	28,477,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△147,211	△103,394
繰延ヘッジ損益	△1,966	—
為替換算調整勘定	△296,956	△232,998
評価・換算差額等合計	△446,135	△336,392
少数株主持分	230,194	261,883
純資産合計	28,322,801	28,403,396
負債純資産合計	52,537,185	52,791,115

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	19,542,513	19,709,510
売上原価	11,637,762	11,742,112
売上総利益	7,904,750	7,967,398
販売費及び一般管理費	7,041,691	7,365,744
営業利益	863,059	601,653
営業外収益		
受取利息	3,565	3,495
受取配当金	46,631	52,803
負ののれん償却額	5,764	5,764
持分法による投資利益	75,255	140,891
その他	39,468	50,255
営業外収益合計	170,685	253,209
営業外費用		
支払利息	8,426	11,560
為替差損	—	11,238
その他	19,754	13,145
営業外費用合計	28,180	35,944
経常利益	1,005,563	818,918
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,460	3,911
特別利益合計	1,460	3,911
特別損失		
固定資産処分損	78,725	56,661
減損損失	40,435	—
投資有価証券評価損	—	76,199
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	98,573
その他	2,283	—
特別損失合計	121,443	231,434
税金等調整前四半期純利益	885,581	591,395
法人税、住民税及び事業税	700,731	488,063
法人税等調整額	△326,582	△196,842
法人税等合計	374,148	291,221
少数株主損益調整前四半期純利益	511,432	300,174
少数株主利益又は少数株主損失(△)	840	△21,242
四半期純利益	510,592	321,416

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	885,581	591,395
減価償却費	651,063	736,012
減損損失	40,435	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	98,573
のれん償却額	4,759	1,511
負ののれん償却額	△5,764	△5,764
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△140	△3,911
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	51,135	△21,904
賞与引当金の増減額 (△は減少)	684,144	658,361
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△54,459	△115,749
受取利息及び受取配当金	△50,197	△56,298
支払利息	8,426	11,560
持分法による投資損益 (△は益)	△75,255	△140,891
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,283	76,199
固定資産処分損益 (△は益)	57,998	38,366
売上債権の増減額 (△は増加)	863,749	1,969,135
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△756,876	△357,947
仕入債務の増減額 (△は減少)	107,260	139,386
その他	△195,393	△88,201
小計	2,218,749	3,529,835
利息及び配当金の受取額	48,224	278,666
利息の支払額	△3,424	△10,938
法人税等の支払額	△376,529	△1,082,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,887,020	2,715,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1,003,000	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△726,404	△1,322,160
有形固定資産の売却による収入	0	2,995
投資有価証券の取得による支出	△45,188	△3,589
その他	△48,324	△41,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,822,916	△1,367,035
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△37,208	△104,517
長期借入金の返済による支出	△99,749	△199,206
自己株式の取得による支出	△108,751	△219
配当金の支払額	△198,815	△242,010
その他	△5,464	△7,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449,989	△553,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,824	△8,559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△369,062	786,003
現金及び現金同等物の期首残高	5,172,299	6,793,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,803,237	7,579,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、菓子の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。